

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	レインボースマイル		
○保護者評価実施期間	令和6年10月15日		～ 令和6年11月8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	令和6年9月1日		～ 令和6年9月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年12月20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援プログラムによる基礎体力の向上とルールやマナーの習得	支援プログラムでは集団で関わって、エアロビックやダンス、基礎体力作りで、楽しめるような内容の活動を職員間で考え実行出来ている。プログラムでは、皆が約束を守るよう、毎回活動の前にルールを一文字言葉で示し、何回も繰り返し伝えることで、(子供が答える形式)意識付けを行うことにより、ルールを自然と守れるようになっている。	支援プログラムに関して、皆が楽しんで参加出来る内容を今後も、職員間で話し合い行う。エアロビックやダンスなどでは、児童のリクエストの曲を採用することにより、参加するモチベーションを保つ。 ルールや約束事は常に一緒ではなく、児童の変化とともに少しずつ変えていき、その都度、起こっている問題解決できるよう対応していく。
2	職員間での情報共有と連携	開始前のミーティングで児童の様子や近況、足並みを揃えるため、対応の協議をしている。また、営業後には支援の反省点や今後の改善などを話し合い、より良い支援が出来るよう連携を取っている。	支援する職員に認識の違いが出ないよう、大切な情報に関しては、職員共有ファイルに記載し、ミーティングでも改めて伝えることにより、足並みを揃えた支援を実施する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援に対して、家族支援プログラムや家族が参加出来る知識向上の研修や情報提供・保護者会や保護者同士で交流する機会が少ない。	コロナ禍になって以降、大人数で集まるようなことを、躊躇していたこともあり、実施出来ていなかった。	今年は、交流が出来るような、レインボー祭りの開催、公会堂でのプログラム発表会を実施したが、今後も保護者向けの勉強会や交流出来るような、場作りを検討していく。
2	職場でのスキルアップ、専門性を高める研修への参加頻度が少ない。	常勤、非常勤を問わず資質向上の研修について案内を出しているが、時間や日程が合わず、中々参加が出来ていない。	研修に参加出来る頻度を高めるため、多くの案内を出し、選択肢を増やす。
3	第三者の評価による業務改善	事業所内の評価と保護者の評価で完結しているため、正しい評価が出来ているかの課題がある。	現在は評価に関する疑問や問題点は感じていないが、今後必要と判断した場合は実施することを検討する。